

自他共栄

◆ 学校教育目標 「自他共栄」について ◆

「自他共栄」とは、相手を敬い感謝することで、信頼し合い助け合う心を育み、自分だけでなく、他の人と共に栄える世の中にしようとする事です。大きな目標だなあと思う方もいるかと思います。

しかし、本校生徒の校内外における誠実な生活の様子、学習や部活動に向かう前向きな姿勢をみますと、この学校教育目標「自他共栄」を十分に理解し、そして実践してくれるのではないかと期待感が湧いてきます。

人は一人では生きていけません。相手を思いやり、お互いに磨き合いながら、円滑な関係、WIN-WIN（相手も自分も双方が勝ち）の関係をどうしたら構築できるかを考えていくことが大切です。

麻生中学校を卒業し、将来社会に出た時にも「自他共栄」という視点から、仕事を進め、社会を支えてもらいたいと考えます。

◆元氣の出る授業◆

麻生中学校の先生達は、生徒が授業に積極的に取り組めるように、工夫を凝らしています。4月の授業の様子を少しだけ紹介します。

国語では、自分のつくった俳句をよりよくするために、グループで話し合い活動を行っていました。活発な話し合い活動が行われていました。理科では、花のつくりの観察や電気分解の実験などの体験的な学習をとおして、考えを深める学習をしていました。観察や実験に真剣に取り組んでいました。美術では、鉛筆をカッターで削る活動をとおして、用具について特性を学習していました。多くの生徒が初めての体験でしたが、最後まで粘り強く取り組んでいました。

授業に共通していることは、先生の工夫と生徒のやる気があるということです。

授業をとおして、生徒が段々と元気になっていく姿をみることができました。

◆続 校外でのあいさつについて／地域の声◆

本誌第1号で、地域の方々から、本校生徒の校外でのあいさつがすばらしいとの声が寄せられていることをお知らせしました。その続報です。4月下旬に行方市内の学校関係者が集まる会議がありました。その会議に参加されていた本校学区に在住している方が「ジョギングをしていると、麻生中の生徒があいさつをしてくれるんだよ。」とうれしそうに声をかけてくれました。私も、とてもうれしくなりました。

校外での地域の方へのあいさつは、簡単そうですがなかなかできることではありません。これは、本校の目指す生徒の姿である「主体的に考え、判断し、思いやりと勇気をもって行動する！」が地域において実践されているということです。大変誇らしいことです。